

学生の声

Student's Voice

身近なところに目を向け、

一人でも多くの人が

暮らしやすい地域について考えます。

土澤 風乃 さん

3年 東京都 星美学園高等学校出身(現 サレジアン国際学園高等学校)

高校生のとき、SDGsのなかで「住み続けられるまちづくり」に興味を持ち、多くの人が暮らしやすい地域について考えたいと思うようになりました。少し視野を広げると、過疎化やオーバートリズムなどさまざまな地域が多くの問題を抱えていることを知り、まちづくりを観光に絡めながら学べる本学科を選びました。

現在は、都市計画の分野を中心に学んでいます。実際に街歩きをして見つけた課題を目に見える形でマップ化したり、撮った写真を合成して理想のまちをつくったりするなかで、観察力や課題発見力が身に付きました。休みの日は地元の観光ボランティアにも参加して、学科の学びを活かしながらまちの魅力を発信しています。卒業後は公務員として、まちづくりにより一層関わってきたいです。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限	ボランティア 実践B	日本語演習			コミュニティデザイン 演習IA	
2限	出産・育児の セーフティネット				刑事法	
3限	コミュニティ デザイン	総合科目 (国際政治)		コミュニティ論 特殊講義(女性文化)		
4限	コミュニティと 地場産業			家庭と仕事		
5限		コミュニティ論 特殊講義 (プライダル)		民事法		

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Course model

履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

住民と行政の協働に
貢献できる人材へ公共 分野
【履修科目例】

- コミュニティデザイン
- まちづくりと行財政
- まちづくり関連法規
- 住民参加論
- アーバンデザイン
- 環境と防災
- まちづくり特殊講義(学校)

Student's Voice ◀

[まちづくりと行財政]を履修。コミュニティの中で起きている課題や現状をわかりやすく教えてくださるため、自分の知識の幅が広がっている気がします。課題も新聞記事を見て行うことが多いので、今起きている社会問題への関心も授業を通して高まりました。

地域経済の活性化に
貢献できる人材へビジネス 分野
【履修科目例】

- ビジネスデザイン
- コミュニティと金融
- 地場産業論
- コミュニティビジネス
- まちづくり特殊講義(24時間の文化)
- まちづくり特殊講義(ネット社会)
- まちづくり特殊講義(買い物)

Student's Voice ◀

[地場産業論]を履修。授業では一週間のニュースを振り返りながら、全国の伝統工芸品や地域の産業について学びます。全国の地場産業を学ぶことはもちろん、地元の産業について改めて考える機会にもなり、毎週楽しんで授業を受けています。

人と人をつなぎ支え合う
仕組みをつくる人材へ社会貢献 分野
【履修科目例】

- ライフコースとジェンダー
- 男女共同参画社会
- まちづくり論
- 子どもと教育
- 老いと女性
- 出産・育児のセーフティネット
- まちづくり特殊講義(食文化)

Student's Voice ◀

[老いと女性]を履修。高齢者の介護問題や女性の育児と仕事の両立問題など、少子高齢社会の現代を生きる女性として、多くの知識を得ることができます。初めて知る知識や社会問題などがたくさんあって、毎回刺激があり楽しい授業です。